

都市再生整備計画

そね
曾根地区

京都府 京丹波町
きょうたんばちょう

平成24年3月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(丹波自然運動公園等の周辺環境を活かし、自然や歴史、地域の人々とのふれあいを楽しむことが出来る交流拠点としての機能を発揮)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当施設から周辺の豊かな自然・田園風景への眺望の確保や、周辺の里山景観と調和した美しい施設整備 子どもから老人までが参加でき、来訪者に地域のおもてなしを感じていただく交流イベントを開催 	<p>地域生活基盤整備事業(交流広場兼防災拠点、緑地) 高質空間形成施設(修景・緑化施設、照明、モニュメント等) 地域創造支援事業(案内標識、交流イベント)</p>
<p>整備方針2(京丹波町各地の魅力を発信することで、町内への周遊や滞在を促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内の既存の道の駅や商店のおすすめ情報や、朝市等のイベント情報の提供 当拠点を起点として、実際に周辺の観光施設やまちに立ち寄り、京丹波の魅力を体感していただくための周遊サービスを提供 	<p>地域生活基盤整備事業(情報板) 高次都市施設(観光交流センター)</p>
<p>整備方針3(基幹産業である農業振興による地域活性化)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元物産である農作物や特産物により、来訪者に京都丹波ブランドの食の魅力を提供できる特産物紹介・即売施設を整備する。 京丹波で採れる野菜を使った特色ある飲食・物販施設を整備する。 新たな京丹波ブランドとなりうる特産物を開発・製造し、地域の生産活動の活性化及び特産物の需要拡大を図る。 	<p>高次都市施設(観光交流センター、まちおこしセンター) 地域創造支援事業(地域振興施設:飲食・物販施設) 地域創造支援事業(地域特産品開発)</p>
<p>整備方針4(高速道路機能を活かした広域防災活動拠点としての機能を発揮)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時における高速道路機能を活かした広域防災活動拠点と位置付け、本町への物資輸送中継基地として利用できる施設整備 	<p>地域生活基盤整備事業(交流広場兼防災拠点)</p>

その他

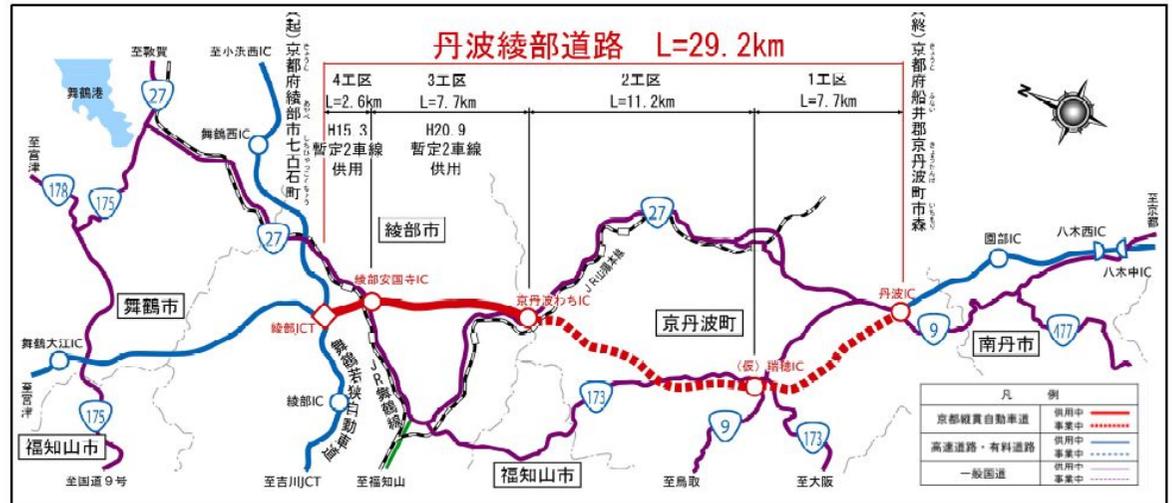
京都縦貫自動車道 一般国道478号 丹波綾部道路

京都縦貫自動車道は南北に長い京都府の北部地域と南部地域を結び全長約100kmの高規格幹線道路であり、人口の過疎化が進み産業・経済の状況において南部地域に比べて大きく立ち遅れている京都府北部地域の経済の活性化や京都府北部地域と南部地域の連携強化を図り、府域の一体的発展に資する道路である。

丹波綾部道路は、京都縦貫自動車道の一部区間を構成し、京都府北部及び中部地域の活性化を図るとともに、物流の効率化、さらには一般国道27号に対するリダンダンシーの確保等を目的に計画された道路である。

[計画の概要]

- 起終点
 - 自)京都府綾部市七百石町
 - 至)京都府船井郡京丹波町市森
- 計画延長 L = 29.2km
- 幅員 W = 22.0m(標準)
- 構造規格 第1種3級
- 設計速度 80km/h
- 車線数 4車線
- 全体事業費 約2,100億円

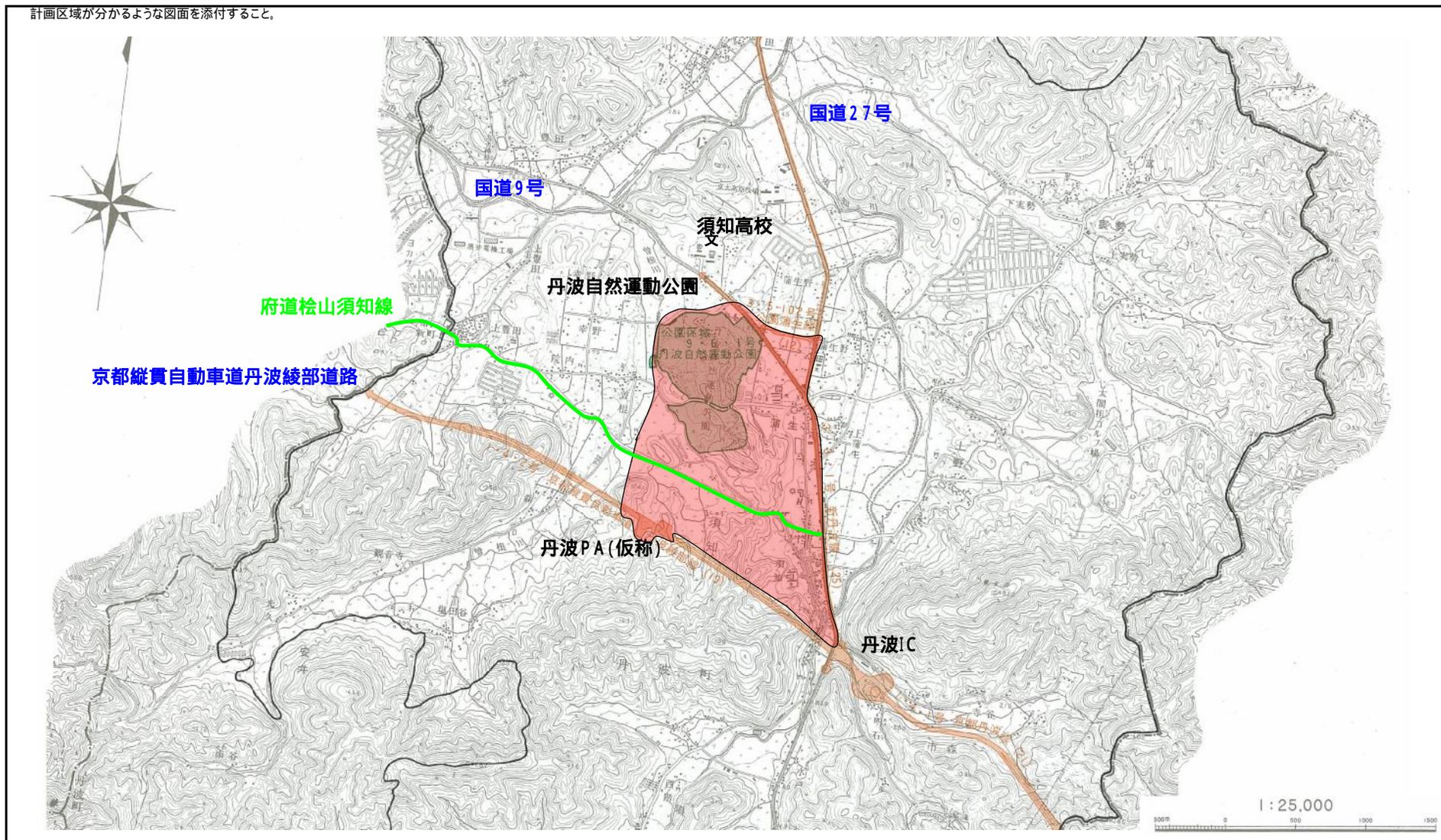


凡 例	
京都縦貫自動車道	供用中
高速道路・有料道路	事業中
一般国道	供用中
	事業中

都市再生整備計画の区域

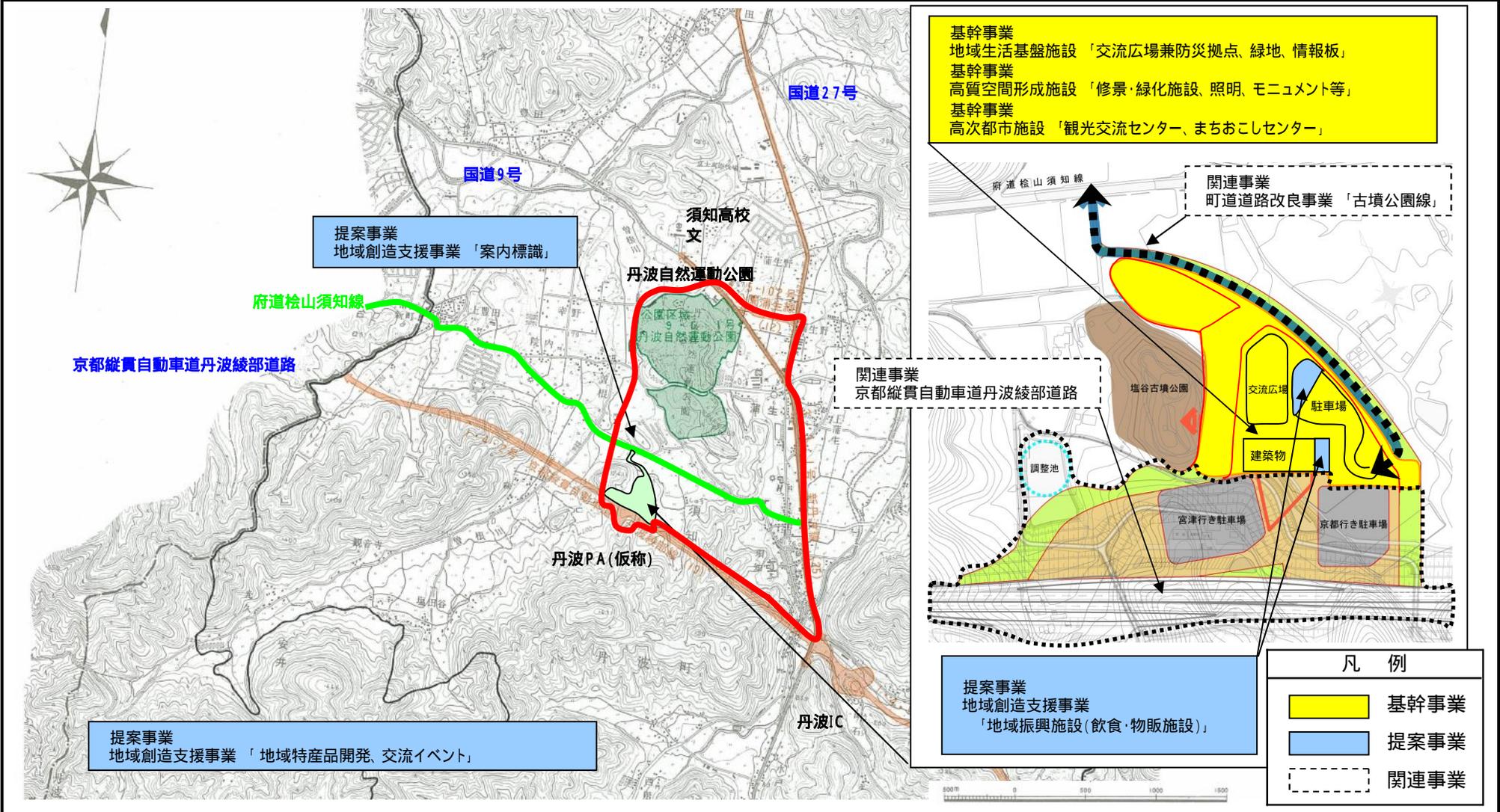
曽根地区(京都府京丹波町)	面積	245 ha	区域	京丹波町曽根、須知、蒲生、豊田、院内の一部
---------------	----	--------	----	-----------------------

計画区域が分かるような図面を添付すること。



曾根地区(京都府京丹波町) 整備方針概要図

目標	大目標 京都縦貫自動車道丹波綾部道路の開通に合わせた本町の特性を活かした魅力的なまちづくり	代表的な指標	京丹波町の年間交流人口 (人/年)	1,720千人	(H23年度)	1,920千人	(H27年度)
	目標1 丹波自然運動公園等の周辺環境を活かし、自然や歴史、地域の人々とのふれあいを楽しむことが出来る交流拠点としての機能を発揮する。		京丹波町の特産品数 (品)	12	(H23年度)	14	(H27年度)
	目標2 京丹波町各地の魅力を発信することで、町内への周遊や滞在を促し、地域活性化を図る。		地域イベントの開催回数 (回/年)	4	(H23年度)	6	(H27年度)
	目標3 基幹産業である農業振興による地域活性化を図る。		救援物資中継基地の対象人数 (人)	0	(H23年度)	16,500	(H27年度)
目標4 高速道路機能を活かした広域防災活動拠点としての機能を発揮する。							



基幹事業
 地域生活基盤施設「交流広場兼防災拠点、緑地、情報板」
基幹事業
 高質空間形成施設「修景・緑化施設、照明、モニュメント等」
基幹事業
 高次都市施設「観光交流センター、まちおこしセンター」

関連事業
 町道道路改良事業「古墳公園線」

関連事業
 京都縦貫自動車道丹波綾部道路

提案事業
 地域創造支援事業「地域特産品開発、交流イベント」

提案事業
 地域創造支援事業「案内標識」

凡例

	基幹事業
	提案事業
	関連事業